

予算編成の基本的考え方

国は、平成23年度の経済見通しについて、「景気は持ち直し、経済成長の好循環に向けた動きが進むことが見込まれる。」としていますが、「先行きのリスクとして、海外景気の下振れ懸念や為替市場の動向等が挙げられる。」との認識も示しています。

区の財政状況は、主要な歳入である特別区税と特別区交付金が、いずれも減収となり、平成22年度当初予算と比較すると約12億円の減収となっています。一方、歳出では、生活保護費などの扶助費の大幅な増加に加え、更新期にある区有施設や少子高齢化への対応など、増大する様々な財政需要を抱え、今後も厳しい財政運営が続くものと予測しております。

こうした中、平成23年度予算では、「予算編成方針会議」に加えて、「予算編成調整会議」を実施し、全庁的な意識の共有化と庁内議論を踏まえた予算編成に取組み、「行政経営推進プラン」に定めた財政規律の下に健全財政を維持しつつ、新たな行政計画の着実な推進と区民の生活を支える施策に重点的な財源配分を行いました。

また、4月に区長及び区議会議員選挙を控えているため、予算計上している経費は、原則として平成22年度に計上されている既定経費及び緊急性、継続性により実施しなければならない事業の経費としております。